

## 保育士自己評価集計（2月実施）

項目	「はい」の割合（保育士A～L）（%）												項目平均
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1. 保育の理念・保育観	100	100	50	90	90	100	90	100	100	90	80	80	89.1
2. 保育の内容													
1) 保育計画・指導計画	100	100	43	100	71	75	86	86	100	86	14	0	71.7
2) 乳児保育	93	93	64	86	100	93	93	100	93	86	71	50	85.1
3) 1・2歳児保育	100	77	54	77	100	85	100	85	100	92	77	54	83.4
4) 3歳以上児保育													
ア. 基礎的事項	100	88	63	88	100	75	75	88	75	88	88	13	78.4
イ. 健康	100	100	56	89	67	100	89	78	56	56	44	11	70.5
ウ. 人間関係	100	100	57	86	57	86	86	43	100	43	71	29	71.5
エ. 環境	100	75	13	75	75	88	75	63	75	25	13	0	56.4
オ. 言葉	100	100	44	78	100	89	89	67	100	78	89	33	80.5
カ. 表現	100	67	44	89	44	89	78	78	33	11	44	0	56.4
個人平均	99.3	90	48.8	85.8	80.4	88	86.1	78.8	83.2	65.5	59.1	27	

### <評価>

- ・項目平均が一番低いのは「環境」と「表現」であった。二つとも保育士の感性とそれをどう子どもに伝えるかを問う設問が多く含まれているが、それを苦手とする者が多く、得意とする者との間に大きな差が出た。
- ・ベテラン保育士と新任保育士の差が大きい。「新任保育士」には保育士歴は長いがすみれ保育園で勤めて日が浅い者も含まれ、新しい職場で経験を活かすことの難しさを示していると思われる。若い保育士に対して、先輩保育士は指導、育成に努力し多くの経験を積ませるように配慮していかなければならない。